

研究者の横顔

フリガナ

イワイ ナオト

お名前

岩井 直人

助成金額

50 万円

ご所属

京都府立医科大学消化器内科

研究テーマ

消化器がんにおける化学療法による末梢神経障害の最適な薬物療法の確立

1：研究者になろうとしたきっかけ

消化器内科医師として、多岐にわたる消化器がん診療に関わる中で、臨床上の解明すべきテーマが多くあることに気づきました。患者さまに寄り添い、実地診療に役立つエビデンスを見出すことで、社会貢献したいと思っています。

2：助成研究の内容紹介

化学療法誘発性末梢神経障害（chemotherapy induced peripheral neuropathy: CIPN）は、化学療法の副作用の中でも頻度が高く、がん患者の生活の質（QOL）のみならず、日常生活動作（ADL）に制限を引き起こします。消化器がんを対象に、中等度または重度のCIPNに対する薬物療法の有効性を明らかにします。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

化学療法の長足の進歩に伴い、消化器がん患者さまの長期予後が改善している中で、慢性化するCIPNに対する治療は今後より一層、重要になることが予想されます。本研究により、CIPNに対する薬物療法の有用性が明らかになれば、治療効果の向上だけでなく、患者さまのQOLやADLの改善が期待されます。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

今回、このようなご支援を賜り、本当にありがとうございます。今回の抗がん剤による末梢神経障害についての研究は、日常診療の中で着想しました。本研究で、がん診療に貢献できるよう尽力いたします。